

【十和田市教育委員会】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末をはじめとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

中央審議会答申「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、共同的な学びの実現～」において、「個別最適な学び」と「共同的な学び」を一体的に充実することを目指しています。

情報活用能力は「学習の基盤となる資質・能力」と位置付けられ、各教科等の特性をいかし教科等横断的な視点から適切な学習場面での育成を図ることが必要です。その際には、児童生徒が ICT を活用し、個々の能力を伸ばすための支援を行うことで、適切な学びの機会の充実を目指していきます。

本市においては、1人1台端末や整備された通信ネットワークを活用していくことで、子供たちの学ぶ意欲と学習成果の向上、子供の個性と能力を最大限に引き出す指導力の向上、子供と向き合う時間の確保を図ります。

2. GIGA 第1期の総括

GIGA スクール構想の下、十和田市では市内小中学校に各種補助金を活用して令和2年度に校内 LAN や1人1台端末など ICT 環境の充実を図り、ICT 支援員の配置など ICT 機器の活用に対する支援を行ってきました。

学校現場での授業や各種活動等における1人1台端末や校内 LAN の活用する機会は増加し、それぞれの学校や担当者で学習用アプリなどを組み入れた授業により基本的な学習指導の手法と ICT との融合が図られており、教員の ICT 活用指導力の向上がみられます。しかし、通信量の増大に伴う回線速度の低下により利活用に影響を与えている状況です。

そのため GIGA 第2期においては、ネットワークアセスメントにより得られた結果を基に、通常の利用において十分な回線速度を確保できない学校に対して、十分な速度の通信回線を整備することが必要であると考えます。

3. 1人1台端末の利活用方策

GIGA 第2期の端末更新により十分な予備機を整備し、1人1台端末環境を引き続き維持することを前提として、以下の方針をもとに活用していきます。

「1人1台端末の積極的活用」

情報担当教職員との研修や ICT 支援員を通じて情報共有を行い、各校における端末活用能力の向上・環境づくりを支援します。

「個別最適・協働的な学びの充実」

デジタル教科書や AI ドリル等のデジタル教材を充実させ、児童生徒の特性・理解度・進度にふさわしい課題に取り組めるよう整備していきます。

「学びの保障」

1人1台端末を用いることで、何らかの理由などにより登校が難しいという児童生徒に対する学びの機会の保障、特別な配慮を要する児童生徒への教育の充実を目指します。